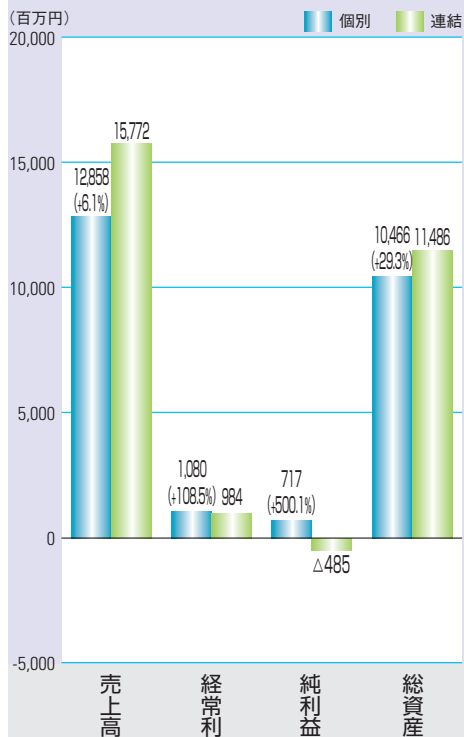


株式会社ジー・テイスト
第48期事業報告書
平成18年4月1日～平成19年3月31日

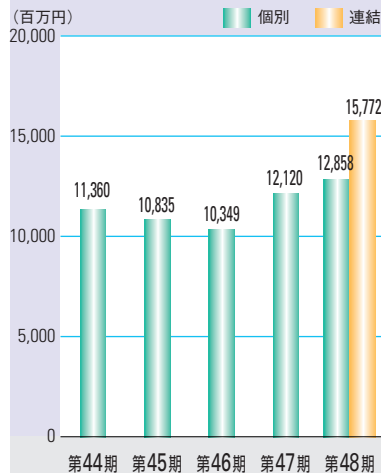
財務ハイライト

第48期業績

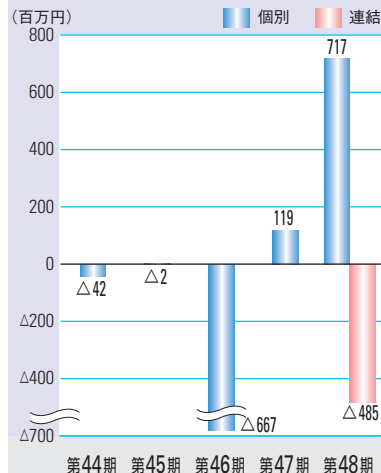


(注) パーセント表示は個別前年同期比となります。

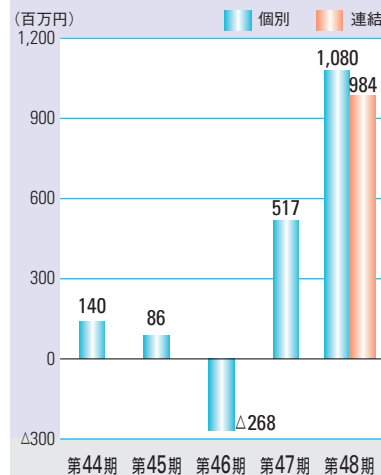
売上高



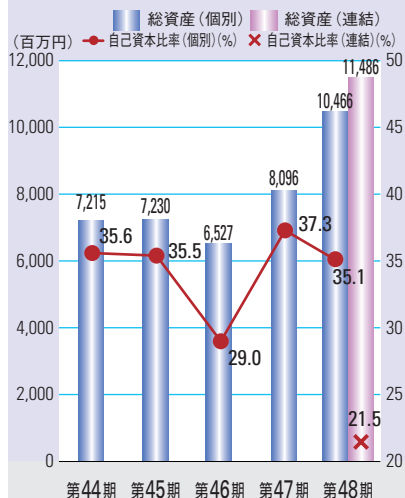
当期純利益



経常利益



総資産・自己資本比率





代表取締役社長

稲吉史泰

手頃な価格でおいしい食事を提供し、快適な食生活を楽しんでもらいたい。日本の味覚を、いつでも、気軽に楽しめるようにしたい――。

創業以来40余年、変わることなく抱き続けて参りました。「株式会社ジー・テイスト」は、食のパイオニア企業として、21世紀の豊かな食文化の創造に貢献して参ります。

● 経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が緩やかながらも拡大基調を続けており、雇用情勢も改善に広がりが見られます。しかしながら、一方で個人消費の回復力は弱く、景気全体としては安定した拡大には至っておりません。

外食産業におきましては、長期にわたり減少傾向にあった市場規模がようやく下げ止まり、回復の兆しが現れておりますが、飲酒運転の取り締まり強化の影響等業種や個別企業ごとで好不調の差が大きくなっております。

このような経済情勢のもとで当社グループは平成18年3月期に大きな変革と多角化によって業績を飛躍的に改善させた勢いを持続させるため、既存事業の強化と新規事業分野への進出を積極的に推進いたしました。

第一に寿司部門におきましては、10月に価格帯を4種類から6種類に増

やすと同時に商品内容を更に充実させた見直しを図り、当社独自の新商品の投入やバラエティー感あるメニュー構成への切り換えを実施いたしました。また、販売促進キャンペーン計画に基づき定期的に四季折々のこだわりメニューと旬の生ネタを提供することにより、他社との差別化を図りました。こうした結果、客単価が上昇し、既存店売上高は前年水準を確保できました。

第二に居酒屋部門におきましては、従来から飲酒運転防止のための活動をして参りましたが、この活動を一層推し進め新規接客での注意、並びにタクシー、運転代行の使用を呼び掛けて参りました。また、フードメニューにおいては各店舗の客層に応じた挟み込みメニューを導入するとともに、変更サイクルも3ヶ月から2ヶ月に一度といたしました。ドリンク類についても既存のグランドメニューの他に、グループ会社が製造している日本酒及び焼酎を導入し、差別化を図りました。

第三に上記両部門共通に7月より「ミステリーショッパー」調査（外部覆面モニター）を実施いたしております。これは、店舗と全く関係ない第三者の目で店舗のお客様サービスの充足度をチェックすることにより、更なるサービス向上と従業員の意識向上を図ることを目指すものであります。

第四に新規事業につきましては6月にアントニオ猪木氏に関する肖像権等を当社が独占的に使用できる契約を締結いたしました。これは猪木氏をイメージキャラクターとした飲食店「アントニオ猪木酒場」の展開を行うもので、当社が「とりあえず吾平」で培った商品開発力・展開力を基に、お客様にプロレス映像を観戦しながら猪木氏からイメージされるボリュームある飲食メニューを提供し、ご来店されたお客様に元気になっていただくというコンセプトであります。今年度はFC店を2店舗オープンいたしました。

第五に10月に東証2部上場のちゃんこ料理をメインとして経営している株式会社グローバルアクトの株式の56.7%を取得し、同社を連結子会社といたしました。これによって当社グループは和食レストランにも進出することになり居酒屋事業の内容が一層充実したものとなりました。今後、ジー・コミュニケーショングループの総力を結集して経営の抜本的改革を行い、収益性を改善して参ります。

新規出店に関しましては、寿司部門が1店、居酒屋部門では「とりあえず吾平」が8店、「小樽食堂」が5店となりました。一方大阪府内にありました「とりあえず吾平」2店舗を営業譲渡いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は157億72百万円、営業利益は8億48百万円、経常利益は9億84百万円、当期純損失は4億85百万円となりました。

当社の事業についてご紹介します

当社は回転寿司や居酒屋の事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との共存共栄の実現を目指します。

● 寿司部門他

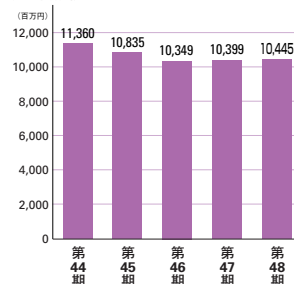


「おいしいお寿司を手頃な価格で楽しんでもらいたい」をモットーに回転寿司のバイオニアとして40年余。旬の素材を活かし、一皿一皿心を込めて握っております。定番メニューのほか季節限定品やオリジナルメニュー、店長のおすすめ、アラカルトなど、四季を通じてバラエティー豊かな味がお楽しみいただけます。また、お持ち帰りメニューも豊富にご用意しております。



寿司部門他

売上高推移



● 居酒屋部門



「とりあえず吾平」は郊外を中心に展開する、20代から30代のヤング、ミドル層をメインターゲットとした郊外型ダイニングレストランです。

100品目前後のバラエティー豊かなフード、100種類以上のドリンクが揃う充実のメニュー構成と良心的な価格設定で、くつろぎの空間の中で安心してお楽しみいただけます。



昭和の時代、金曜8時にワールドプロレスリングを見ながら食べた夕食「昭和の食卓」の再現。テレビの前でアントニオ猪木に興奮したあの時に猪木酒場でプレイバックし、昭和世代で盛り上がる。

猪木プロレスは戦いのワンダーランド！

猪木酒場は居酒屋のワンダーランド！

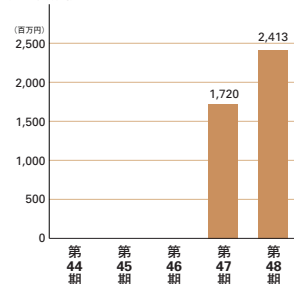
あの感動をもう一度！！

ご来店される皆様が「元気になる居酒屋」、それがアントニオ猪木酒場です。



居酒屋部門

売上高推移



● 新ブランド『アントニオ猪木酒場』続々オープン

古き良き昭和をイメージさせるノスタルジックな外装に、ネオンが光るエントランス。チャンピオンベルト・猪木引退記念グッズやパネル、格闘技名場面の放映など、アントニオ猪木氏のディスプレイが満載の内装。

昨年10月25日、ついに東京・池袋にデビュー致しました第1号店『アントニオ猪木酒場 東京豊島池袋店』。

そして沖縄・那覇に2号店『アントニオ猪木酒場 那覇久茂地店』がデビュー。

当店ではアントニオ猪木ブランドを全面に、ここでしか食べられないオリジナルメニューを食べながらプロレス映像を観戦出来るアミューズメント的な活気ある居酒屋です。

お膝元の仙台のほか千葉、静岡にOPENが決定致しました。



● 株式会社グローバルアクトから譲受けた北信越地区15店舗が、ジー・コミュニケーショングループ業態にリニューアルオープン！

平成18年10月16日をもって当社の連結子会社となりました株式会社グローバルアクト（旧株式会社江戸沢）より平成19年5月1日に北信越地区の15店舗を譲受け、リニューアルし収益のアップに力を注いでおります。

なお、同社は平成19年5月1日に株式会社ダイニング企画と合併し、株式会社ダイニング企画の株主であり、当社の親会社である株式会社ジー・コミュニケーションがグローバルアクト株式の交付を受け、筆頭株主となったため当社の子会社ではなくなりました。



● 株式分割を実施しました。

投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるため、株式の分割を実施。平成18年10月31日を基準日として株主所有の普通株式数を平成18年11月1日をもって1株につき、3株に分割いたしました。

1株



3株

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成19年3月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	492
受取手形及び売掛金	94
たな卸資産	174
繰延税金資産	47
その他	478
貸倒引当金	△ 16
流動資産合計	1,271
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	3,076
機械装置及び運搬具	46
土地	2,011
建設仮勘定	26
その他	192
有形固定資産合計	5,353
無形固定資産	
のれん	103
その他	53
無形固定資産合計	157
投資その他の資産	
投資有価証券	31
長期貸付金	130
繰延税金資産	150
敷金及び差入保証金	4,374
その他	161
貸倒引当金	△ 145
投資その他の資産合計	4,703
固定資産合計	10,214
資産合計	11,486

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成19年3月31日)
負債の部	
流動負債	
買掛金	588
短期借入金	1,963
未払法人税等	457
閉店損失引当金	223
その他	1,129
流動負債合計	4,363
固定負債	
社債	10
長期借入金	3,155
退職給付引当金	154
役員退職慰労引当金	50
債務保証損失引当金	341
その他	734
固定負債合計	4,446
負債合計	8,809
純資産の部	
株主資本	
資本金	897
資本剰余金	960
利益剰余金	614
自己株式	△ 2
株主資本合計	2,469
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	3
評価・換算差額等合計	3
少数株主持分	202
純資産合計	2,676
負債純資産合計	11,486

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	15,772
売上原価	5,638
売上総利益	10,134
販売費及び一般管理費	9,285
営業利益	848
営業外収益	393
受取利息及び受取配当金	5
不動産賃貸料	143
受取販売手数料	185
その他	59
営業外費用	256
支払利息	73
不動産賃貸原価	79
不動産休業原価	57
その他	45
経常利益	984
特別利益	192
固定資産売却益	2
関係会社株式売却益	189
特別損失	2,068
前期損益修正損	10
閉店損失引当金繰入額	215
債務保証損失引当金繰入額	341
減損損失	1,245
その他	255
税金等調整前当期純損失	891
法人税、住民税及び事業税	474
法人税等調整額	△ 199
少数株主損失	679
当期純損失	485

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	897	960	1,162	△ 2	3,017	5	5	—	3,023
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 62		△ 62		—		△ 62
当期純損失			△ 485		△ 485		—		△ 485
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額（純額）					—	△ 2	△ 2	202	200
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	△ 547	—	△ 547	△ 2	△ 2	202	△ 346
平成19年3月31日残高	897	960	614	△ 2	2,469	3	3	202	2,676

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 （自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	412
現金及び現金同等物の減少額	△ 1,454
現金及び現金同等物の期首残高	1,947
現金及び現金同等物の期末残高	492

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成19年3月31日)	前事業年度 (平成18年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	409	1,947
受取手形	3	5
売掛金	68	54
売上預け金	77	82
商品	11	6
原材料	108	108
貯蔵品	26	20
前払費用	117	102
繰延税金資産	72	—
関係会社貸付金	1,802	—
その他	69	39
貸倒引当金	△ 77	△ 16
流動資産合計	2,688	2,350
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,382	2,141
構築物	173	186
機械装置及び運搬具	46	48
工具器具及び備品	175	192
土地	1,550	1,263
有形固定資産合計	4,327	3,833
無形固定資産	152	162
投資その他の資産		
投資有価証券	31	49
関係会社株式	1,490	—
出資金	4	4
長期貸付金	15	24
長期前払費用	38	42
繰延税金資産	150	—
敷金及び差入保証金	1,563	1,624
その他	21	45
貸倒引当金	△ 18	△ 39
投資その他の資産合計	3,297	1,750
固定資産合計	7,777	5,746
資産合計	10,466	8,096

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成19年3月31日)	前事業年度 (平成18年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	458	582
短期借入金	900	280
一年以内返済予定の長期借入金	870	590
一年以内償還予定の社債	40	89
未払金	160	59
未払費用	310	269
未払法人税等	436	54
未払消費税等	71	79
前受金	16	10
預り金	172	37
前受収益	24	270
その他	8	7
流動負債合計	3,470	2,331
固定負債		
社債	10	50
長期借入金	2,509	2,120
預り敷金及び保証金	331	351
繰延税金負債	—	3
退職給付引当金	154	198
役員退職慰労引当金	50	—
長期前受収益	247	—
その他	15	19
固定負債合計	3,318	2,742
負債合計	6,789	5,073
資本の部		
資本金	—	897
資本剰余金	—	960
利益剰余金	—	1,162
その他有価証券評価差額金	—	5
自己株式	—	△ 2
資本合計	—	3,023
負債資本合計	—	8,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	897	—
資本剰余金	960	—
利益剰余金	1,818	—
自己株式	△ 2	—
評価換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	—
純資産合計	3,676	—
負債純資産合計	10,466	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）	（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）
売上高	12,858	12,120
売上原価	4,828	4,895
売上総利益	8,030	7,225
販売費及び一般管理費	7,176	6,773
営業利益	853	451
営業外収益	364	290
営業外費用	138	224
経常利益	1,080	517
特別利益	2	13
特別損失	136	379
税引前当期純利益	946	152
法人税、住民税及び事業税	453	32
法人税等調整額	△ 224	—
当期純利益	717	119
前期繰越利益	—	104
当期末処分利益	—	224

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

当事業年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

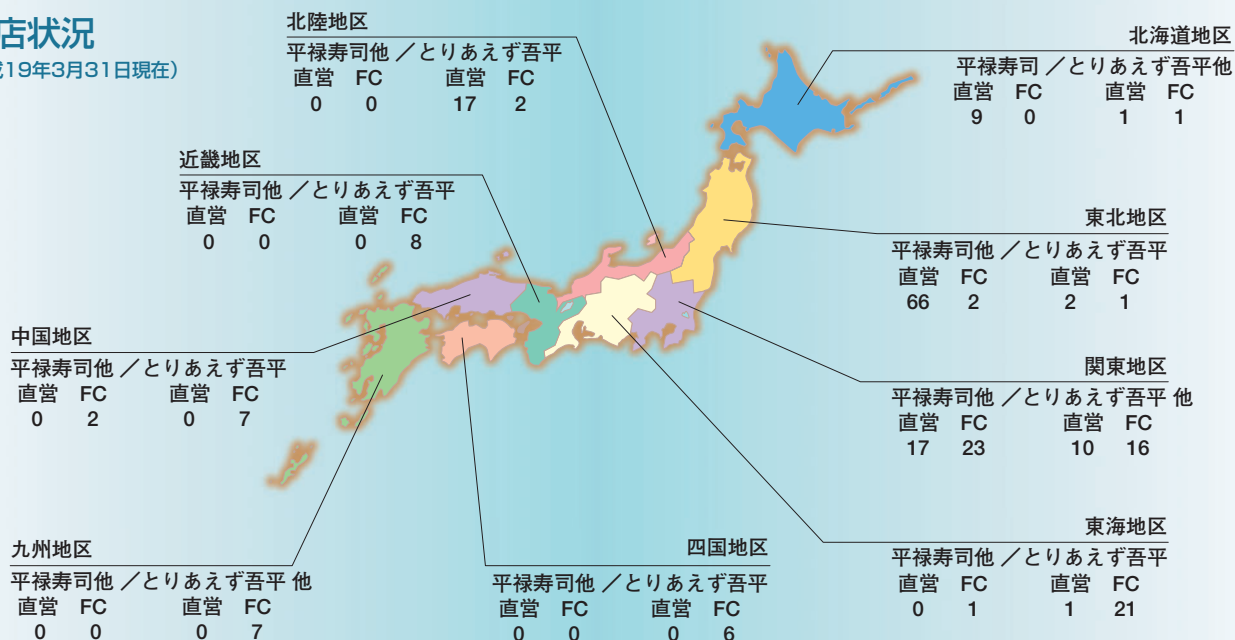
（単位：百万円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金 利益剰余金 合計						
平成18年3月31日残高	897	960	960	78	860	224	1,162	△ 2	3,017	5	5	3,023
当事業年度中の変動額												
剰余金の配当			—			△ 62	△ 62		△ 62		—	△ 62
当期純利益			—			717	717		717		—	717
株主資本以外の項目 の当事業年度中の 変動額（純額）			—				—		—	△ 2	△ 2	△ 2
当事業年度中の 変動額合計	—	—	—	—	—	655	655	—	655	△ 2	△ 2	653
平成19年3月31日残高	897	960	960	78	860	880	1,818	△ 2	3,673	3	3	3,676

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 出店状況

(平成19年3月31日現在)



Column

『平禄寿司』 海外へ進出！！

この度、タイ国バンコクにおきまして、現地企業及び当社の親会社である株式会社ジー・コミュニケーションらの出資によって新会社を設立することとなり、この新会社と同社がタイにおいて当社の主力業態である「平禄寿司」の運営に関するライセンス契約を締結する予定であります。

当社はこれまで国内において回転寿司のパイオニアとして蓄積してきたノウハウを武器に、海外においても本格的な日本の回転寿司を味わっていただき、「平禄寿司」のブランドを拡大したいと考えており、この度の契約締結予定となりました。

なお、海外1号店は平成19年8月下旬を予定しております。

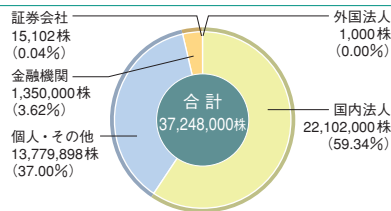
株式の状況／会社情報

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

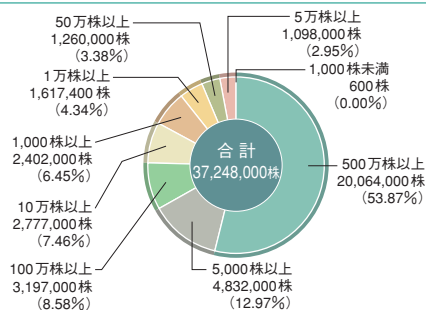
発行可能株式総数 60,000,000 株
 発行済株式の総数 37,248,000 株
 株主数 2,055 名
 大株主

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
(株)ジー・コミュニケーション	20,064,000	53.87
江川進興	1,836,000	4.93
ジー・テイスト取引先持株会	1,361,000	3.65
江川春延	738,000	1.98
(有)オレンジライフ	522,000	1.40
遠山仁域	335,000	0.90
東七十七銀行	330,000	0.89
(株)三井住友海上火災保険	252,000	0.68
三菱UFJ信託銀行(株)	180,000	0.48

所有者別株式構成比率



所有数別株式構成比率



会社概要 (平成19年3月31日現在)

商号 株式会社ジー・テイスト
 会社設立日 昭和34年11月25日
 資本金 897,128千円
 事業内容 1. 回転寿司店の経営
 2. 居酒屋店の経営
 3. 関連商品の販売

役員 (平成19年6月28日時点)

代表取締役社長	稲吉史泰
常務取締役	川上一郎
取締役	小齋幸吉
取締役	扇正信
取締役	伊藤雄一
取締役	稲吉正樹
監査役	星晴夫
監査役	鈴木丞
監査役	乗松康弘
執行役員	太田篤
執行役員	小西正尚
執行役員	神崎謙一
執行役員	真田二郎

株主優待制度のご案内



年間1回、当社の株主様に対し、お食事ご優待券を贈呈いたします。

当社が経営する全店及びフランチャイズ加盟店全店並びに株式会社ジー・コミュニケーションのグループ各社が経営する全飲食店でご利用いただけます。

～贈呈基準～（年間1回）

1,000株以上保有の株主様一律

10,000円相当額の優待券

ホームページのご案内



当社のホームページでは、第48期事業報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略など、様々な情報が掲載されています。

是非、一度ご覧下さい。

ホームページ ▶ <http://www.g-taste.co.jp/>

株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日 3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

配当金の基準日 期末配当金 3月31日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 住所変更等用紙のご請求 0120-175-417
その他のご照会 0120-176-417

ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国本支店

公 告 方 法 下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.g-taste.co.jp>

株式会社ジー・テイスト

〒984-0042

仙台市若林区大和町5-33-18

TEL：(022) 237-5566 FAX：(022) 237-5570

ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste